

1. 山行計画

4月例会山行 4月21日(日) 金時山(武石)

神山が登山制限のため金時山に変更。集合時間は4/12の集会で決定予定

コース：足柄駅ー金時山ー仙石原

参加者：吉田 前田、鈴木、佐藤文、武石、野間、瀧、角田、芳賀、石井、

尾瀬 4月27日(日)～29日(月) (前田)

詳細は4/12の集会で決定

コース：鳩待峠ー至仏山ー山の鼻

参加者：前田 武石 瀧 芳賀

澗沢・北穂高岳・徳本峠・霞沢岳 5/1(水)夜ー5/6(月) (石井)

集合：バスタ新宿 22:25 発 さわやか信州号

コースは3月11日集会記録(P4)参照

参加者：前田 大沢 一之瀬 野間 角田 石井

5月例会山行 滝子山 5月12日(日) (吉田)

集合：笹子駅9時

コース：笹子駅ー南陵ー滝子山ー大谷ヶ丸分岐ー道証地藏ー笹子駅

参加者：吉田 前田 鈴木 武石 野間 芳賀 石井

6月雪稜祭 6月1日(土) 2日(日)

新人の参加を考え、人数の変更が可能な世附川ロッジにする。20名で仮予約済み(芳賀)。別途詳細な計画を決定する。

利尻岳・礼文島トレッキング 7/26(金)～7/30(火)

(石井)

日程は集会記録(P5)参照

参加者：前田 大沢 一之瀬 芳賀 池田茂 砂川朝 砂川秀 石井

2. 山行報告

3月20日(水) 天神尾根から谷川岳(トマの耳)

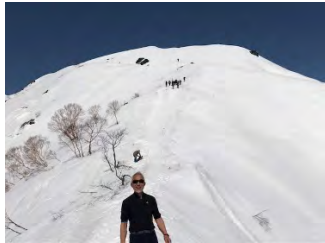
参加者：前田、石井

コースタイム：天神平(9:30)⇒天神尾根稜線(9:45～10:05)⇒避難小屋(10:35～10:45)⇒天狗の留まり場(10:55～11:05)⇒ザンゲ岩(11:50)⇒肩の小屋(12:20)⇒トマの耳(12:35～12:45)⇒肩の小屋(13:00～13:15)⇒避難小屋(13:50～14:00)⇒稜線上のピーク(14:10～14:20)⇒天神平(14:45)

横浜駅で集合した後、東京駅6時36分発の谷川401号で上毛高原に向かう。下車後、観光案内所窓口でバス・ロープウェイの往復割引切符を買った後、待っているロープウェイ行きのバスに乗り込む。女性1名を除いて我々と同年配の男性単独登山者ばかり数名を載せてロープウェイ乗り場まで向かう。天気予報の通り快晴の天気。車窓からも谷川連峰の白い峰々が見え、谷川岳に向かう雪がしっかりついた天神尾根もくっきり見えた。ロープウェイ乗り場は昨年10月に来た時とは違い、待つ人の列もなく、すぐにゴンドラに乗れた。スキー客は見た限りゼロ、登山客だけであった。降り口の天神平でアイゼンをつける。夏道とは違い、尾根をトラバースすることなくスキー場の端を一気に稜線迄登る。気温は高いが雪はしまっており、先行する人が何人もいるので、前の人ステップを登っていくが、最初からの急登は応える。最後は小さな雪庇を抜くようにして稜線に出る。しばらくは稜線の右斜面を行く。谷川岳が大きく見える。少し急な下りがあった後、しばらくして避難小屋に到着。避難小屋は完全に雪に埋もれていて目印の柱だけが雪面から顔をのぞかせている。ここから左から右に湾曲していく天神尾根を登っていく登山者が良く見える。登りが結構あることを確認し出発。途中の小ピークで真っ青な快晴をバックにした写真を撮る。ポータルに載せたいとの前田さんの要望。夏と違って尾根に沿って雪の斜面を直登できるので、結構辛いアルバイトである。天狗のとまり場、ザンゲ石で一休みしながら、肩の小屋への最後の急登を登る。これが一番の急斜面かと思うが、登り切れば肩の小屋はすぐ近くにあり、ザックを小屋脇に降ろし、空身でトマの耳を往復した。

行動食を食べ、コーヒーで一息入れた後、下り始める。雪の斜面は足の踏み場を気にせず直線的に下れるので、登りとは違い快調なペースで高度を下げる事ができた。午後になっても雲一つない快晴の空で、所々で写真を撮りながら、

快調に下りる。スキー場の斜面を滑っている人は一人だけ。ロープウェイを乗って上がってきた観光客グループが一つとがらんとした天神平ロープウェイ駅前でアイゼンをはずし、ロープウェイに飛び込む。難しいと思っていた15時10分発のバスにこれまた飛び乗り上毛高原駅へ。この日唯一ついていなかったのは、駅前のソバ屋が休みで祝杯を挙げられなかったことであった。



(天神尾根を背にして)



(雪面のきつい上り)



(オジカ沢の頭を背にして)



(トマの耳頂上にて)
(記録&写真：石井)

3月24日(日) 酒水の滝から矢倉岳

参加者：吉田、高橋、鈴木、佐藤、武石、野間、瀧、芳賀、芳賀さんの友人(2名)、星野、石井、池田
コース：山北駅(9:00)―酒水の滝―矢倉岳―矢倉沢―(バス)―大雄山駅・新松田駅

快晴の山北駅を出発し、酒水の滝へ向かった。雲一つない空のため肌寒かったが、酒水の滝に着く頃には身体も温まり上着を脱ぎ、酒水の滝の落差を堪能した。酒水の滝より21世紀の森テレビ塔、セントラル広場、浜居場城址、山伏平を通り矢倉岳に向う。セントラル広場手前の休憩所にて、待ちに待った昼食を取り疲労回復とこれからの登山に備えエネルギーを吸収した。セントラル広場から先の登山道では、昨日木々に降った雪が溶けだし、森の中で雨のように降り出していた。

13:30頃に矢倉岳に到着。頂上では毎日曜日にドローンを飛ばしに来ている登山者が居てドローンで撮影した航空写真を見せて戴きました。またドローンで撮影した映像を「YouTubeに「やぐらもぐら」の名前で公開しているようですので、興味の有る方は見て下さい。矢倉沢からの帰りのバス(15:20)に間に合うよう

にと、頂上では30分ぐらいの休憩で下山することになりました。15:00前には矢倉沢に到着し、矢倉沢公民館前の桜並木の桜を眺め、帰りのバスを待った。

大雄山、新松田行きのバスに乗車し、それぞれの経路で帰宅の途に就いた。



(酒水の滝)



(前夜の雪の残る山道)



(矢倉岳頂上)



(矢倉沢の桜)

(記録：池田茂、写真：佐藤文)

3月27日(水)～28(木) 千畳敷カール

参加者：前田、井艸、砂川朝、砂川秀(OG)、吉田元(OB)、
三ノ宮、石井

コースタイム：千畳敷ホテル(15:05)⇒乗越浄土(16:05
～25)⇒千畳敷ホテル(17:25)

自家用車組と新宿からのバス組がしらび平のロープウェイ乗り口に集合できたのは1時間に1本しか運転しない発車5分前でした。ロープウェイで一気に標高2612mの白銀の世界へ。ホテルにチェックイン後、翌日の天気は崩れるのがわかっていたので、とりあえず防寒具にアイゼンをつけ、外に出たのは15時を過ぎていた。先ほどまで雪上訓練していたグループもいなくなり、登山者は他には誰もいない。駒ヶ岳神社に一礼をして歩き出す。先頭を行く前田さんはどンドン進んでいて本当に稜線を目指つもりだ。伊那前岳と宝剣岳の間のコルを目指斜面の下から先頭を交代する。踏み跡はそれなりに残ってはいるが、舞った雪がかぶさり、凍結している。コルを目指して登り始める。後続は三ノ宮さんと前田さん。ほとんど荷物の無い風よけのザックをしょっているだけだが、一気には登れない。踏み跡に雪がかぶさっている所をアイゼンを利かせながらようやく稜線に出るまでホテルから1時間かかった。宝剣岳の岩場や駒ヶ岳に向かう稜線を見ながら乗越浄土(2858m)の看板で待つこと15分、二人も到着。強い風と時間を考え、宝剣岳には登らず、写真を撮った後下ることにした。下り初めの急斜面、左右から岩稜が出ている所まではスリップしないように斜めに慎重に下る。ホテルの建物はなかなか近づかない。二つ目の岩稜で狭くなった所を過ぎれば、後は滑って行ってもカールの底に辿り着く。そこからは真っすぐ下り、千畳敷のカールの水平歩行は写真を撮りながら1時間でホテルまで下りた。雲で満天の星は見られず。

夜半には強くなった風でホテルの窓がきしんだ音を立てていた。翌朝は風は収まったが、雪で視界はまったくない。迷わず、8時55分の始発のロープウェイでしらび平に下り、バス組は途中の駒の湯で温まった後、バスで新宿に戻った。



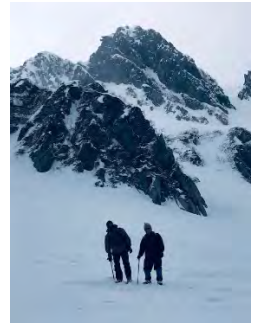
(目指すコルと前を行く前田さん)



(稜線直下を登る2人)



(乗越浄土からの宝剣岳)



(宝剣岳をバックに)

(記録&写真：石井)

3. スポーツ保険 (吉田)

・昨年に準じて、3/26に申込み済み。

4. 会員募集 (前田)

*広告掲載日：4月4日・5日

広告掲載料¥269,460 (Web掲載料込み)

*広告掲載地域

4月4日：戸塚区 56150+α

金沢区・磯子区 76050+α

港南区・栄区+71500+α

保土ヶ谷区 40300+α

旭区 48150+α

神奈川区 42250+α

4月5日：横須賀 83900+α

(αは店舗や施設への配架を示す)

*説明会について

4月12日および4月14日に各1時間開催する。

一回目の説明会は4月12日(金)集会日。19時より開始。

二回目は4月14日(日)12時30分開始。12時より準備を始めます。日曜日の説明会にもなるべく会員の参加をお願いします。また説明会の配布資料作成、会場案内の看板作成、プログラム(手順と説明に内容)についてお手伝いや提案もお願いします。

*説明会のプログラム案と説明資料案(スライドで説明)

・開会挨拶 (前田)

・雪稜会の紹介(プレゼン資料を用いて：一之瀬)

・雪稜会参加者の自己紹介

・質問と懇談

司会は石井が担当。2019年度前半の主な山行予定の詳細を含むプレゼンの概要を応募者に配布する
プレゼン資料のさらなる検討のため3月31日に打ち合わせを持ちました。

集会記録 3月11日(月) 18:00~20:00 (一之瀬)

参加者：前田、鈴木、佐藤文、一之瀬、武石、野間、瀧、角田、芳賀、石井、池田茂 (11名)

1. 山行報告

無し

2. 山行計画

① 3月例会山行① 矢倉岳 (吉田)

日時：3月24日(日)

集合：御殿場線山北駅 9:00 (Suica 不可)

コース：洒水の滝-矢倉岳-矢倉沢-大雄山駅 or 新松田駅 歩程5時間

参加者：9名(+2名)

② 3月例会山行② 千畳敷 (前田)

日時：3月27日(水)~28日(木)

千畳敷ホテル1泊2食付、駒ヶ根-千畳敷バス往復、ロープウェイ往復代金含め 10,500円

集合：高速バス利用 横浜駅7:34 発湘南新宿ライン

コース：27日 横浜-電車・高速バス-千畳敷

28日 千畳敷・極楽平散策-帰宅

参加者：7名(交通機関4名・自家用車3名)

③ 4月例会山行

日時：4月21日(日) 会員募集の関係で変更

目的地：駒ヶ岳・神山(早雲山に下山) 担当(武石)

④ 尾瀬 (前田)

日時：4月27日(土)~29日(月)

コース：湯の小屋-笠が岳-至仏山-山の鼻 or

鳩待峠-至仏山-山の鼻 小屋の営業状況による

⑤ 上高地-涸沢・徳本峠・霞沢岳 (石井)

日時：5月1日(水)夜-5月6日(月)

集合：バスタ新宿 22:25 発 さわやか信州号

コース：1日 新宿-上高地(グリーンカー)

2日(木) 上高地-横尾-涸沢

3日(金) 涸沢-北穂高往復 or 涸沢散策-横尾

4日(土) 横尾-明神-徳本峠 or 上高地-横尾

5日(日) 霞沢岳往復 徳本峠小屋

6日(月) 島々-横浜 or 明神-上高地-横浜

※天候により、適宜日程変更

⑥ 大群山 (吉田)

日時：5月12日(日)

3. 雪稜祭

・新人の参加を考え、人数の変更が可能な世附川ロッジにする。20名で仮予約予定。予約担当は芳賀さん。

日時：6月1日(土) 2日(日)

4. スポーツ保険

・昨年に準じて、申込み。集会参加者は、全員希望。

5. 会員募集 (前田)

・広告掲載日：4月4日・5日 掲載：7ヶ所

・説明会 4月12日(金) 19:00 (集会 18:00~)

14日(日) 12:30~ 各1時間開催

・WEB掲載料(37,800円)が別途かかることが分かり、当初予算より、19,460円と会場費・通信費の追加支出が必要となった。

一般会計より支出することが承認された。

・HPの更新に取り組んでいる。会員がアクセスし、更新できるようなソフトに変え、使いやすいような環境を考えている。

6. 次回以降の集会日

・説明会の実施や新人募集により集会参加者が増えることを考え、会場等を変更した。

7. 石井彰新会長の連絡先

雪稜会用のメールアドレス

ahamstar910@gmail.com

集会記録 3月25日(月) 18:00~20:00 (吉田)

出席者：吉田 前田、鈴木、佐藤文、武石、野間、瀧、角田、芳賀、石井、(10名)

1. 山行報告

① 天神尾根 3月20日(水) (石井)

参加者：前田 石井

雪稜会のHPに写真がUPされている。

上毛高原から一番バスでロープウェイへ、並ばずに乗車。最初からアイゼンを付けて急斜面を直登して稜線に出る。9:30 スタートしステップの跡をたどる。

快晴で頂上まで望むことが出来る。

熊穴沢の避難小屋は屋根まで雪で埋まっていた。

全部が直登なので上がりがかたい。

肩の小屋 12:20 着。コーヒーと行動食を食べ下山。

雪の状態がいいので快調に下りられた。
14:45 天神平着。1 時間 3 0 分で下山できた。
平日でも 5 0 人～1 0 0 人位が登っていた。
このようなコンディションであれば雪に慣れていない人でも十分に歩くことができる。
水分補給について前田さんより 4 月 26 日の集会で話があります。

②洒水の滝から矢倉岳 3 月 24 日 (日) (瀧)
コース：洒水の滝－矢倉岳－矢倉沢
参加者：吉田 高橋 加賀屋 鈴木 佐藤 野間 瀧 芳賀 星野 石井 池田茂 芳賀さんジム仲間 2 名
山北駅 9:00 集合。芳賀さんのジム仲間 2 名と会員 11 名の参加。駅前の桜は少し花をつけていた。
洒水の滝は細長い滝に感じた。
昨日の雪で杉の木の上に雪が乗っているのでみぞれが落ちてくるような感じの道を歩いた。
2 1 世紀の森のセントラル広場の手前で昼食にする。
頂上は天気も良く、視界良好。
ドローンを飛ばしている人がいて、撮影した写真を見せていろいろ宣伝していた。
2 0 分休んでバスの時間に合わせて下山。
楽しみにしていた矢倉沢の桜は残念ながら終わりに近かった。

2. 山行計画

① 3 月例会山行 千畳敷 (前田)
日時：3 月 27 日 (水) ～28 日 (木)
千畳敷ホテル 1 泊 2 食付、駒ヶ根－千畳敷バス往復
ロープウェイ往復代金含め 10,500 円
集合：高速バス利用 横浜駅 7:34 発湘南新宿ライン 10 番線
コース：27 日 横浜－新宿 8:07－バスタ新宿 8:35
－駒ヶ根バスターミナル 12:33 路線バス～ロープウェイ－千畳敷 14:12
28 日 千畳敷・極楽平散策－帰宅
参加者：前田 石井 砂川朝 砂川秀 井艸 吉田元 三ノ宮

②4 月例会山行 金時山 4 月 21 日 (日) (武石)
神山が登山制限のため金時山に変更
コース：足柄駅－金時山－仙石原

参加者：吉田 前田、鈴木、佐藤文、武石、野間、瀧、角田、芳賀、石井、

③尾瀬 4 月 27 日 (日) ～2 9 日(月) (前田)
コース：鳩待峠－至仏山－山の鼻
小屋の営業状況による
参加者：前田 武石 瀧 芳賀

④上高地－涸沢・徳本峠・霞沢岳 (石井)
日時：5 月 1 日 (水) 夜－5 月 6 日 (月)
集合：バスタ新宿 22:25 発 さわやか信州号
コースは山行計画欄参照
参加者：前田 大沢 一之瀬 野間 角田 石井

⑤ 5 月例会山行 滝子山 5 月 12 日 (日) (吉田)
参加者：吉田 前田 鈴木 武石 野間 芳賀 石井

⑥雪稜祭
新人の参加を考え、人数の変更が可能な世附川ロッジにする。20 名で仮予約をする 担当 (芳賀)
日時：6 月 1 日 (土) 2 日 (日)

⑦利尻岳・礼文島トレッキング
日程：
7/26 :羽田発 10:00 の ANA059 で千歳着 11:35 。千歳発 12:55 の ANA4929 で 13:45 利尻空港着。到着後は島内散策。旅館雪国(¥8500/泊～¥10000/泊)に 3 泊。
7/27 : 利尻岳登山 (悪天候の場合は礼文島トレッキング)
7/28 : 予備日
7/29 : 鴛泊 9:20 発のフェリーで礼文島香深(10:05 着)に渡り、岬めぐりコース・トレッキング。民宿やざわ(¥10500～¥11000)泊。
7/30 :8:45 発のフェリーで稚内(10:40 着)へ。宗谷岬を観光後、稚内空港発 15:35 の ANA574 で羽田着 17:30。
参加者：前田 大沢 一之瀬 芳賀 池田茂 砂川朝 砂川秀 石井

3. スポーツ保険
・昨年に準じて、申込み。

4. 会員募集
《前記とほぼ同じ内容の為省略する。》

5. 2019年度の会長・副会長以外の各担当の確認

(未確定の方も含みます)

会計：瀧 三浦

装備：星野

募集：前田 芳賀

ポータル：前田 野間

議事録：一之瀬 吉田

会場予約：別途決める

リーダー：吉田 前田 一之瀬 三浦 武石 瀧

次回以降の集会日

4月12日(金) 305号室 18:00~20:00

18:00~19:00 集会・19:00~20:00 会員募集説明会

4月14日(日) 1503号室 12:00~14:00

12:30~13:30 会員募集説明会

4月26日(金) 305号室 18:00~20:00

5月7日(火) 303号室 18:00~20:00

5月20日(月) 303号室 18:00~20:00

6月3日(月) 302号室 18:00~20:00

6月17日(月) 302号室 18:00~20:00

7月8日(月) 306号室 18:00~20:00

7月22日(月) 306号室 18:00~20:00

8月5日(月) 303号室 18:00~20:00

8月19日(月) 303号室 18:00~20:00

9月10日(火) 302号室 18:00~20:00

9月28日(土) 306号室 18:00~20:00

以上

足柄三山（矢倉岳・金時山・明神ヶ岳） 令和元年5月2日（水）

参加者：吉田（単独） 天候：曇り、小雨、晴

コースタイム：矢倉沢 6:00－矢倉岳 7:10－足柄峠 8:15－金時山 9:35、9:45－矢倉沢峠 10:12－明神ヶ岳 11:54、12:14－明星ヶ岳 13:10－塔ノ峰 14:26、14:31－箱根湯本駅 15:25

昨年4月30日に古希の記念にと歩いたコースを逆コースで歩く計画をたてました。

今日のコースは前回よりも下りの箇所が多いので歩行時間が25分ほど短い。

昨夜遅くまで降り続いた雨は上がったものの、山々にはまだガスが立ち込めていた。

3月に会の山行「洒水の滝から矢倉岳」で下った道を登るが、まだいくらか記憶が残っているので思い出しながら登る。頂上手前ではキジが登山道を横切った

早朝なので矢倉岳には一番乗りで山頂は静まり返っていて何か新鮮な感じがした。

万葉公園に向かう道からは矢倉岳の姿が水墨画のように見えた。天気予報では午後から晴れるらしい。

金時山に登る手前で、金時山登頂3000回を達成した近所の年上のA氏と偶然会い立ち話をする。

毎日の金時山登山は80歳まで続けるそうだ。（金時山直下まで車を利用している）

金時山の下山路からはこれから歩くコースの特徴である箱根笹の道がよく見える、その道に入ると驚いたことに足元にはすみれの花がたくさん咲いていてその道をずっと辿っていくようになる。すみれの株が年々増えていくとすると何年かすると花の名所として取り上げられるかもなど勝手な想像をする。

時折開けたところからは右下にハイランドホテルやガラスの森美術館などが箱庭のように見える。

明神ヶ岳の手前30分あまりの登りが急でピッチがあがらず今日の山行では一番難儀しました。

山頂でお昼を食べるころには青空も出ていて、その熱で山頂の地面から水蒸気が立ち昇っていました。



矢倉沢峠からの笹の道



10:40 地点から金時山



11:27 地点から明神ヶ岳

ここまで来ると全体の行程の6割は終了しているので気分的にはのんびりムードになってくる。

明星ヶ岳に近づくとつれづれ歩いている人の姿も殆ど見かけなくなってきた。

日が射して暑いと思っていたら小雨が降りだした。

眼下には谷を隔てて大平台温泉郷と箱根駅伝で有名な大平台の大カーブを走る車が小さく見える。

明星ヶ岳と塔ノ峰の間の登山道は雨による流水で土がえぐられ、さらに勾配もあって歩きにくい箇所が多くあった。雨を気にしながら急な下り続けると宮城野林道に飛び出す、ここからは道路を歩き再び登山道に入ると15分で塔ノ峰に到着、その手前では黒いウサギを目撃しました。

そこから阿弥陀寺までは暗くて陰気な感じのするぬかるんだ樹林の中を下る。

昨日の雨のぬかるみで靴が泥だらけになるだろうと考えて歯ブラシを持ってきたが、幸いに寺の下の道の脇に沢水が流れていて靴を洗って駅へ。今回の山行は天気あまりよくなかったせいか人出も少なく、昨年歩いた経験とゴール地点が電車の駅なので気分的には楽でした。